

## 〔感染症発生動向調査企画委員会情報〕

3月報

### インフルエンザ定点（小児科定点を含む）

インフルエンザ 報告数は0件(前月比ー、前年同月比ー)でした。流行は全く起こらずに例年のインフルエンザシーズンを終えようとしています。

### 小児科定点

(全体傾向)

報告数1,734件(前月比 1.29, 前年同月比 0.99)でした。前月比で増加しているのはRSウイルス感染症の増加によるものです。そのほかの感染症発生数に大きな変動はありません。感染性胃腸炎やA群溶連菌咽頭炎は例年に比べて少なく、新型コロナウイルス感染対策によるマスク、手指消毒などの励行が功を奏しているようです。

(疾患別傾向)

1. RSウイルス感染症 : 報告数854件(前月比2.1、前年同月比18.2)でした。1月からの増加傾向は続いていて、流行は収まりません。菊池(42.8)、宇城(31.75)、熊本(21.44)から多く報告されました。1歳児を中心として3歳以下が多数を占めています。
2. 咽頭結膜熱 : 報告数44件(前月比1.0、前年同月比0.6)でした。前年より低い水準で推移しています。年齢別では1歳児が6割を占めました。
3. A群溶連菌咽頭炎 : 報告数87件(前月比0.8、前年同月比0.2)でした。例年よりも低い水準で推移しています。年齢別では3～6歳の報告が多いようです。菊池地区(4.20)からやや多く報告されました。
4. 感染性胃腸炎 : 報告数397件(前月比0.8、前年同月比0.7)でした。12月のピーク以降は減少傾向が続いています。年齢別では1歳を中心に幅広く報告されています。菊池、有明、山鹿、人吉地区から多く報告されました。
5. 水痘 : 報告数29件(前月比1.8、前年同月比0.3)でした。前月よりも増加していますが、過去数年に比べるといまだ低水準です。0～6歳の報告のみであり、特に5～6歳が16件と多いようです。菊池地区から多数(20件)報告されました。
6. 手足口病 : 報告数25件(前月比0.8、前年同月比0.4)でした。昨年から低水準で推移しています。年齢は1～2歳に多いようです。約半数は宇城地区からの報告でした。
7. 伝染性紅斑 : 報告数6件(前月比1.2、前年同月比0.1)でした。前年に比べ低い水準で推移していて、昨年6月から一桁の報告が続いています。山鹿2件、熊本・菊池・有明・天草から1件ずつの報告です。
8. 突発性発疹 : 報告数127件(前月比1.1、前年同月比1.4)でした。前月比、前年比とも大きな変動はありません。年齢は6ヶ月から1歳に集中しています。菊池から多く報告されました。
9. ヘルパンギーナ : 報告数22件(前月比2.0、前年同月比1.6)でした。昨秋から少数の報告が続いていて、例年並みの推移です。年齢は1～2歳に多いようです。天草地区からの報告が目立ちます。
10. 流行性耳下腺炎 : 報告数10件(前月比1.7、前年同月比2.0)でした。一昨年末からの低水準が続いています。

## 眼科定点

1. 急性出血性結膜炎： 報告はありません。
2. 流行性角結膜炎： 報告数 18 件(前月比 1.5、前年同月比 0.7)  
18 件とも熊本からの報告で、前月よりも増加しています。年齢別では 30~39 歳が  
頂点ですが、40 歳以降にも散発しています。

## STD 定点

※平成 25 年 1 月から、定点医療機関数の見直しに伴い、定点医療機関が 13 医療機関から 16 医療機関に増えました。

1. 性器クラミジア感染症：  
報告数64件（前月比1.0、前年同月比1.0）で、前月比、前年同月とほぼ同数でした。男女別は、男性に42件、女性22件と男性に多くみられました。年齢別では、男性は10代後半~50代と幅広く、女性も10代後半~20代に集中していました。地区別は、熊本が49件と圧倒的に多く、次いで宇城と有明に男女5件ずつ、内女性は有明が3件、御船が女性2件、八代が男1件、女性2件でした。
2. 性器ヘルペスウイルス感染症：  
報告数14件(前月比1.2、前年同月比0.7)でした。男女別は、男性9件、女性5件でした。年齢別では、各世代にみられましたが、男性は40代後半が3件、20代後半と40代前半が2件、30代、50代が1件ずつ、女性20代から50代に1件ずつ分布でした。地区別は、熊本が9件、宇城が男性1件、菊池、八代が女性のみ各2件でした。
3. 尖圭コンジローマ：  
報告数は5件(前月比2.5、前年同月比0.5)でした。男性のみ5件でした。年齢別では、20代前半が2件、30代から50代が各一件でした。地区別は、熊本が4件、次いで宇城が1件でした。
4. 淋菌感染症：  
報告数は10件(前月比0.8、前年同月比0.9)でした。男女別では、男性8件、女性2件でした。年齢別では、男性の40代が4件、30代が2件、10代後半から20代前半が各1件、女性は10代後半、20代後半に1件でした。地区別は、熊本7件、内、女性1件、次いで御船、有明、宇城が各1件で、御船は女性でした。

## 基幹定点

(月報分)

1. メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症：  
報告数14件（前月比 0.8、前年同月比0.7）でした。すべてが70歳以上でした。人吉（3件、定点あたり3.0）が多くなっています。
2. ペニシリン耐性肺炎球菌感染症：  
報告数6件（前月比 1.5、前年同月+6）でした。熊本5件と多くなっています。65歳以上が2件、0歳が1件、5-9歳が1件です。
3. 薬剤耐性緑膿菌感染症：  
報告数2件（前月比 +2、前年同月比 +2）でした。

(週報分)

1. 細菌性髄膜炎： 報告数0件（前月 +0、前年同月 -1）でした。
2. 無菌性髄膜炎： 報告数0件（前月比 -2、前年同月比 +0）でした。

3. マイコプラズマ肺炎： 報告数0件（前月比 -2、前年同月比 -12）でした。
4. クラミジア肺炎： 報告数0件（前月比 +0、前年同月比 -1）でした。
5. 感染性胃腸炎（ロタウイルスによる）：  
報告数0件（前月比 +0、前年同月比 +0）でした。

### 届け出対象感染症

|                |                  |     |
|----------------|------------------|-----|
| 1類感染症          | ：報告はありませんでした。    |     |
| 2類感染症          | ：結核              | 16件 |
| 3類感染症          | ：腸管出血性大腸菌感染症     | 1件  |
| 4類感染症          | ：重症熱性血小板減少症候群    | 1件  |
|                | 日本紅斑熱            | 1件  |
|                | レジオネラ症           | 2件  |
| 5類感染症          | ：カルバペネム耐性腸内細菌感染症 | 1件  |
|                | 劇症型溶血性レンサ球菌感染症   | 1件  |
|                | 侵襲性インフルエンザ菌感染症   | 1件  |
|                | 水痘（入院例）          | 1件  |
|                | 侵襲性肺炎球菌感染症       | 2件  |
|                | 梅毒               | 6件  |
|                | 百日咳              | 3件  |
|                | クロイツフェルト・ヤコブ病    | 1件  |
| 新型インフルエンザ等感染症： |                  |     |
|                | 新型コロナウイルス感染症     | 55件 |